



# 河内小だより

たつの市立河内小学校  
〒671-1664 たつの市揖保川町金剛山604  
TEL 0791-72-2129  
FAX 0791-72-6213  
HP <https://kochisyo.tatsuno.ed.jp>

ともに学び合い、心身ともに健康でやさしい河内っ子


## 「できなくても当たり前」

一昔前、家庭にあって学校にだけないものの代表的なものといえば、教室のエアコン、洋式トイレ、液晶テレビなどがあげられます。今では河内小学校において、すべて完備しています。では逆に、家庭ではあまり使われないけれど、学校で当たり前のように普通に使っているものといえば何が思い浮かぶでしょうか？例えば、教室の掃除で子どもたちが使うほうきがあります。家庭では、掃除機を使うことがあっても、ほうきを使って掃除をすることは少ないでしょう。また、子どもたちが家庭で雑巾がけをすることもほとんどないかと思います。ですから学校では、1年生の時に雑巾を絞る練習から始めます。次に思いつくのは、火をつけるときに使うマッチです。家庭ではガスレンジはもちろん、IHヒーターもずいぶん使われはじめました。小学校の理科の実験ではカセットコンロを使用するので、子どもたちがマッチをする機会などありません。できなくても当たり前のことなのです。

子どもにとって、できなくても当たり前のことはたくさんあります。私たち大人と違って経験が少ないのですから当然のことです。さて、子どもたちがすぐにはできないことにぶつかったとき、私たち大人はどのように接していけばよいのでしょうか。ほうきや雑巾の使い方、マッチのすり方であれば、大人がていねいに手本を見せることが一番有効だと思います。しかし、今すぐに手本を示すことができないこともたくさんあります。それは、結果がすぐに目で見えないものであったり、その成果を数字で表すことが難しかったりすることです。大人として一番よくないのは、子どものことを日頃ほったらかしにしておいて、できなかったときにだけ非難することだと思います。経験のないことは、できなくても当たり前なのです。

では、手本をすぐに示すことができないときには何が必要なのか……。それは、「ほめて、励まして、そして時にはおだてること」だと思います。正直言って、これは忍耐が必要なことでもあります。学校でも、ご家庭でもたくさん子どもたちをほめてあげませんか。もちろん安全にかかわることであったり、人を傷つけてしまったりしたときには、毅然とした態度で子どもを指導することを大前提にしてのお話です。保護者の皆様や地域の皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

## 11月の予定

- 1日(金) 音楽学習発表会  
(コミセン文化行事・PTAふれあい公演会)
- 2日(土)~4日(月) たつの市児童生徒美術展  
・発明工夫展 
- 3日(日) 文化の日 資源回収②
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) シェイクアウト訓練 定時退勤日
- 6日(水) ミニ地区児童会
- 7日(木) かけあし開始
- 8日(金) 6年:芸術鑑賞会 5年:食肉出前講座
- 11日(月) クラブ活動 3年:読み聞かせ  
マラソン記録会前健康相談(希望者)
- 12日(火) ALT 定時退勤日
- 14日(木) 6年:人間関係づくりプログラム  
5年:皮革工場見学
- 15日(金) 安全の日 4~6年:ケータイスマホ教室
- 16日(土) 人権教育実践発表会(御津小・岩見保)
- 18日(月) 1年:幼小交流会
- 19日(火) ALT 定時退勤日 
- 21日(木) 縦割り活動
- 22日(金) 6年:租税教室
- 23日(土) 勤労感謝の日 

毎月25日は笑顔の日  
ノーゲーム ノースマホデー

  
揖龍小学生陸上競技大会
- 24日(日) 自立のまちづくり事業 河内地区防災講座
- 26日(火) オープンスクール① ALT 定時退勤日
- 27日(水) オープンスクール②(マラソン記録会)  
移動図書館
- 29日(金) わくわく実験教室

## 秋は、楽しい活動がいっぱい！

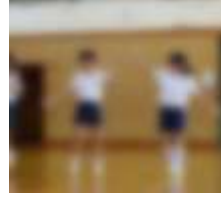
【おもちゃランド：1・2年】

【EM菌の作成と投入：3年】



【河内隧道見学：4年】

【小小交流（半田・神部・河内）「ダンス」：5年】



## 10/3(木)・4(金) 6年生：修学旅行 奈良・京都、満喫しました！

奈良・京都への旅、歴史を直に触れ、本物はちがう！迫り来るものがあると感じました。見学・体験活動を通して、学びの深いものとなりました。「まだ、帰りたくない」という声が象徴的です。

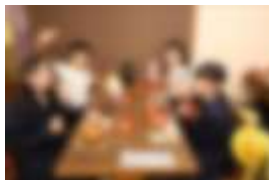
【法隆寺】

【春日野で昼食】

【奈良公園の鹿】

【東大寺】

【平等院鳳凰堂】



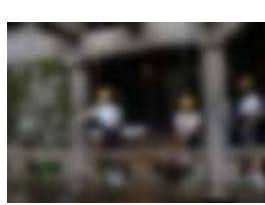
【銀閣寺】

【京都タワー】

【音羽の滝】

【清水寺】

【金閣寺】



【龍安寺】



【映画村】



【八つ橋庵】



### どうせいそく 同声異俗

日に新たに 【松下幸之助『PHP1949年11月号』バックナンバー 参考】

希望と勇気とは、人にいつも青春を与える。それは年齢の如何を問わない。若くとも希望を失えば<sup>たちま</sup>忽ちにして老い、勇気を失えばその日から<sup>はつらつ</sup>澆刺さは消える。希望は与えられるものではない。自ら求めゆくものである。勇気もまた他から与えられるものではない。自ら奮い起こすものである。人生への希望と勇気に満ち満ちたとき、人は日に新たなる生活を営みはじめる。『日に新たに、日に日に新たに。』それは自然の理法であり、すべてのものの発展してゆく姿である。<sup>はんえい</sup>繁栄を望むならば、人もまた日に新たになければならぬ。日に新たとは、絶えざる創意と工夫がこらされることである。一瞬一瞬に工夫をこらし、創意を生み出してゆくことである。この努力——そこから限りない繁栄と幸福とが生み出されてくる。

私は、松下幸之助さんの言葉に触れて、「新たな自分を生み出す」、希望と活力が感じられ、何かワクワクさせられます。年齢は関係ない。日に新たに… 前向きに明るく、歩いてゆきたいですね。